

都立高校生の「ジョブシャドウ」体験

三菱UFJフィナンシャル・グループの社会貢献活動と経済教育団体ジュニア・アチーブメント
日本と連携した高校生のためのキャリア教育支援プログラム

御協力いただいている

三菱UFJフィナンシャル・グループ(6社)
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱東京UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
三菱UFJニコス株式会社
三菱UFJリース株式会社



「仕事を見るのではなく仕事をしている人を見る」

東京都教育委員会では公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本と共催し、三菱UFJフィナンシャル・グループ6社の御協力をいただき、平成19年から都立高校生を対象に「ジョブシャドウ」を実施しています。昨年度までに1,000名を超える参加がありました。

「ジョブシャドウ」とはジュニア・アチーブメントの独自プログラムで、一人の企業社員に対して一人の高校生が、数時間「影(シャドウ)」のようについて回り、社員が仕事に打ち込む姿勢に触れて、今後の進路選択を考えたり、学校生活の動機づけの機会としたりする体験です。

今年度は、7月26日(水)に都立高校31校から95名の高校生が参加し、丸の内や秋葉原にある三菱UFJフィナンシャル・グループ各社の本社ビルで行われました。

主なプログラム

7月15日(土) 事前研修会

- ・ジョブシャドウに関する事前説明
- ・M E S E (経済教育プログラム)
生徒が5人程度でチームを作り、各チームを一つの企業とする。仮想上の商品の価格・生産量・販売費・設備投資額・研究開発費をいくりにするか論議を行い、各項目を意思決定することで、他の企業との業績を競う、シミュレーション・プログラム
- ・ビジネスマナー講習会
(名刺交換、ドレスコード等)

7月26日(水) ジョブシャドウ

(各体験先で、シャドウ体験)事後学習

- ・各社の代表の方々とグループディスカッション
- ・修了式
- ・お礼状作成



公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開。現在、世界123か国、全米129都市に活動拠点がある。日本本部の設立は1995年。企業による経済的援助によって支えられ、経済教育に関する教材やプログラムの学校への無償提供や経営者を含めた社員の学校派遣などの人的支援を行っています。詳しくは <http://www.ja-japan.org>

参加生徒の感想

「働く人はカッコいい」

みなさんが仕事に責任と誇りを持って、働いていることを見ることができた。今まで、自分は自分の行動や自分のしたことに責任を持つのは嫌だと思っていたが、生き生きと働いている皆さんをみて、カッコいいなと思った。

「チームの大切さ」

最初は一人で仕事をこなしているように見えたが、同じ部署の方に相談し、解決しようと努力している姿を見て、チームで一つの目標に向かっていくように感じた。各部署がチームとして戦っている会社がとても素敵に見えた。

「今が大切なことに気が付いた」

皆さんが様々な経験を持っているながらも、全員が自分の今の仕事を一生懸命に行っているのを見て、今が大切なのだと思った。自分もこれから今を一生懸命に過ごしていきたいと思います。

「英語の重要性が分かった」

普段、学校では英語を使う機会がほとんどない私は、会社でこれほど英語が使われていることを知らなかった。難しい単語が並んでいる資料やメールをスラスラ訳していく社員さんを見て自分もっと英語を頑張ろうと思った。

参加した生徒の皆さんは、たった1日の中で「働くこと」の社会的責任、「チームワークやコミュニケーションの大切さ」、「何事にも真摯に向き合う姿勢」、「英語や数学などの授業の大切さ」を理解することができました。

こうした効果は、持てる能力をフルに使いながら、金融の最前線で働く社員の方の姿を「影」となって体感するからこそ得られるものであり、学校や行政だけでは実現できないものです。